



釧路湿原の専門家 新庄さん



温根内木道(イメージ)



釧路市湿原展望台(イメージ)

釧路湿原の専門家、
新庄久志さんが湿原をご案内

新庄久志さんは長年、釧路湿原の保全に携わり現在は釧路国際ウェットランドセンター技術委員会委員長を務めていらっやいます。湿原についての著書も多数出版。その豊富な知識で多方面で活躍されており今回の旅では、快く案内を引き受けてくださいました。2019年のNHKの人気番組で案内役も務められました。

湿原内のホテル「ぼん・ぽんゆ」に連泊

花の霧多布湿原と
釧路湿原に泊まる旅
3日間

集合・日数・出発日	旅行代金
【丘珠空港集合・3日間】 6月24日(火)	¥198,000
【羽田空港集合・3日間】 追加設定 6月28日(土)	¥218,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥20,000にて承ります。)
現地合流プラン: 釧路空港合流(出発) / 釧路空港離団(帰着) 旅行代金より¥20,000引き

1	丘珠空港 11:35 発 → 釧路空港 12:20 着 〓 (● 釧路市湿原展望台。新庄久志さんによる釧路湿原の解説で〓 温根内木道を散策(注2・往復約1時間)) 〓 夕食は、丘の上のオーベルジュ「ハートンツリー」にて(注3) 〓 釧路湿原 18:30 着 (釧路湿原内の宿「ぼん・ぽんゆ」に宿泊) 【2連泊】(釧路湿原泊) 〓 〓 夕
2	釧路湿原 〓 花の霧多布湿原(注1) (● 霧多布湿原センター、〓 霧多布岬、〓 琵琶瀬木道の散策(往復約30分)) 〓 厚岸(昼食は、カキ漁師直営の「オイスターバー 牡蠣場」にて)(注4) 〓 ● 別寒辺牛湿原カヌー下り(注2・所要約2時間) 〓 釧路湿原 (釧路湿原泊) 朝昼夕
3	釧路湿原 10:00 発 〓 〓 コッタロ湿原展望台 〓 昼食は、蕎麦の名店「竹老園 東屋総本店」にて 〓 釧路空港 14:30 発 → 丘珠空港 15:25 着 朝昼 〓

(注1) 例年の花の一般的な見頃に合わせてツアーを設定しておりますが、その年の気候に左右されるため、必ずしも見頃をご覧いただけるわけではありません。予めお含みください。
(注2) 釧路湿原は専門ガイドの新庄さん、別寒辺牛湿原カヌー下りは専門ネイチャーガイドの芦田さんの案内を予定しておりますが、体調などの理由により、変更となる場合がございます。また、天候によりカヌー遊覧が中止の場合はこれに係る旅行費用をご返金します。
(注3) メニューは食材の関係で変更となる場合がございます。
(注4) 6/28 発は厚岸味覚ターミナル・コンキリエ「レストラン エスカル」にて牡蠣料理となります。

■6月28日発 羽田空港発着利用のご案内
(往路全日空、復路日本航空を利用した場合の時刻となります。他の航空会社を利用した場合は発着時間が異なります。)
往路: 羽田空港 11:30 発 → 釧路空港 13:05 着
復路: 釧路空港 14:40 発 → 羽田空港 16:25 着

■最少催行人員: 12名様 ■食事: 朝食2回、昼食2回、夕食2回
■添乗員: 6月24日発は丘珠空港ご出発時から丘珠空港ご到着時まで同行します。6月28日は羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。
■ホテル: 釧路湿原 / 「ぼん・ぽんゆ」(洋室)
■利用予定バス会社: 阿寒バス、釧路衛星株式会社または同等クラス ■利用予定航空会社: 北海道エアシステム(丘珠発)、全日空、日本航空(羽田発)(普通席)



エゾカンゾウが美しい霧多布岬(イメージ)



別寒辺牛湿原カヌー下りは専門ネイチャーガイドの芦田さんがご案内(注2)



琵琶瀬木道(イメージ)

道東ならではの旬の食材を使った
丘の上のオーベルジュと
蕎麦の老舗でのお食事

新鮮な魚介類や自然栽培の野菜、雄大な農場でのびのびと育った地産地消ならではの食材を使ったお食事をお楽しみください。鶴居村の丘の上にあるオーベルジュ「ハートンツリー」での夕食は道産ラムまたはサー

霧多布湿原は、花の種類が多く密度が高いため原生花園が広がり別名「花の湿原」とも呼ばれます。今回は、夏の訪れとともに咲く国内最大級の群生を誇るエゾカンゾウの光景を楽しみつつ、霧多布岬や琵琶瀬木道を歩きます。また、別寒辺牛湿原ではカヌーにて原始の自然が広がる光景を専門のガイドと共に約2時間遊覧します。



「オイスターバー 牡蠣場」の新鮮な牡蠣(イメージ)

モンのチョイスメニュー(注3)、厚岸ではカキ漁師直営の「オイスターバー 牡蠣場」にてカキ料理の昼食、そして旅の最後は、釧路を代表する蕎麦の名店「竹老園 東屋総本店」にてお召し上がりいただけます。



「ぼん・ぽんゆ」全景

道東の雄大な自然の中で泊まる特別感
花と食と地元案内人にこだわり抜いた旅

日本最大の釧路湿原は、いくつもの支流や大小の湖沼、海霧などにうるおされ絶妙な生態系のバランスで形成されています。そんな湿原を間近に感じる貴重な宿「ぼん・ぽんゆ」が世界的に有名な建築家の隈研吾氏と日本を代表するデザイナー原研哉氏のコラボレーションにより2024年9月にグランドオープンしました。アイヌ語の「小さな湯」に由来する名を冠した「ぼん・ぽんゆ」は、大きな窓から、草原やシラルトロ湖の景色をゆったりと眺められ、静穏さの中に、鳥のさえずりや風のざわめきが響きます。近郊で育ったナラの木を床や家具に使用し、どこにいても大自然の息吹を感じられる空間となっています。今回は、この釧路湿原を専門ガイドの新庄久志さんの案内でご紹介。また、初夏にはエゾカンゾウやワタスゲが咲く霧多布湿原や原始の自然が広がる別寒辺牛(べかんべうし)湿原を流れる川のカヌー下りへもご案内します。(注1・注2)

大自然の息吹きを感じられる
ホテル「ぼん・ぽんゆ」に連泊

北海道東部。蛇行しながら流れる釧路川の下流に東西25km、南北36kmにわたる日本最大の釧路湿原があります。その湿原の中



100%の源泉を使用する大浴場

名建築家による釧路湿原内の
最新リゾート
「ぼん・ぽんゆ」に泊まる旅
ワールド初登場